

～風だより～ こうのとり

第1号
2022.4.1

越前市エコビレッジ交流センター
(公財) 日本鳥類保護連盟福井県支部

コウノトリが
舞い降りる里から

エコビレッジ交流センター

館長 中野 利和



新聞紙上では連日、ウクライナへのロシア軍の侵攻により、多くの人々が犠牲になっていることや、新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの人々の生活が苦しめられている状況が報道されています。一日も早く、戦争が終わり、新型コロナウイルスが終息することを祈るばかりです。

心を痛める報道が多いなか、「越前市白山地区でコウノトリ二組産卵、本格的な抱卵に入ったとみられる」との報道があり、その数日後、「小浜市と越前市坂口地区でも三、四組目の抱卵に入ったとみられる」との嬉しい報道がありました。困難な状況だからこそ、豊かな自然・生き物とふれあうことはとても大事なことだと思います。

「環境学習の拠点施設」としての、越前市エコビレッジ交流センターの役割は益々大きくなっていると感じています。皆様に足を運んで頂けるよう努力して参りますので、よろしくお願ひ致します。

「こうのとり」
発刊にあたり

日本鳥類保護連盟

福井県支部長 林 昌尚



裏山の藪の中から賑やかな声が聞こえてきました。「ツピツピツピ・・・」「ギーツ、ギーツ」「ツツピーツツピー・・・」「チユリチユリ・・・」何種類もの小鳥が群れているようです。その中でひととき小さく白い鳥が枝から枝へと忙しそうに動き回っています。エナガです。よく見ると口に羽毛を銜くわえているようです。この日の集団の中には2羽のエナガがいましたが2羽とも羽毛を銜くわえていました。繁殖期を迎え巣作りが始まったようですね。

小鳥たちは種を超えて集まることで天敵から身を守る術を身につけました。鳥類保護連盟福井支部再活動に当たり、先輩たちの力もお借りしながら会員の皆様と力を合わせて活動を盛り上げていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



越前市坂口地区のコウノトリ情報



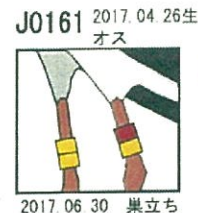
平成24年8月に、「NOSAI福井」さんのご支援で下中津原町に設置。コウノトリの飛来は、平成23年から年々増えてきたものの、人工巣塔は無視されていました。

令和3年3月中頃から、センター東側に整備したピオトープに、2羽(J0161とJ0078)が仲良く餌をついばむ姿が。5月10日には、吐き戻しが観られ、後日、3羽いることが確認できました。7月13日、14日に3羽とも無事巣立ちました。

令和3年3月末
巣台の居心地を確認する2羽



私たちのことを知ってください



兵庫県「コウノトリの郷公園」さんの足環カタログより

J0078 (ななちゃん) は、コウノトリの郷公園近くの人工巣塔で誕生。母親は大陸から渡ってきたと思われる通称「えひめ」。父親はJ0405です。

J0161 (イチローくん) は、豊岡市の山本巣塔で、J0011とJ0399の間に誕生。J0399は「武生」(くちばしの折れたコウノトリ コウちゃん)の孫で、イチローくんは「武生」のひ孫になります。

昭和45年12月に「武生」が舞い降りた場所に、令和3年3月、ひ孫の「イチローくん」が舞い降りたこととなります。命のリレーが続いています。

(野村)

コウノトリ情報 (パート 2)

市内には現在8基の人工巣塔が設置。5基は白山地区に、その他、坂口地区、王子保地区、北日野地区に1基ずつ設置されています。現在、白山地区の5基のうち2基と、坂口地区の1基が利用されています。

今年に入り、安養寺巣塔(白山地区)で、一昨年からの繁殖に成功している「たからくん」(J0138 2016生越前市で放鳥)「みやび」(J0132 豊岡市生)ペアによる抱卵が確認されています。(3月3日産卵)

中野巣塔(白山地区)では、「ゆめちゃん」(J0119 2014生 越前市で放鳥)「みほとくん」(J0481 朝来市で放鳥)による抱卵確認。(3月4日産卵)

下中津原巣塔(坂口地区)も今のところ順調で、ヒナ誕生を心待ちにしているところ、といたいのですが、一番懸念されているのが餌不足です。土地改良が

進んだこの環境下で、今年も誕生したヒナを巣立ちさせるところまでいけるのか、老婆心ながらいろんな方に窮状を訴えています。もっとたくさんの方に知っていただき、協力を得ながら環境整備に精を出していかなければと思っています。(野村)



(退避溝で水浴びをした後、羽を乾かすイチローくん)



令和4年度エコビレッジ交流センター事業計画（案）



月	講座	里山スクール	坂口エコミュージアム ウォーク	里やまカフェ	共催事業
4	10	里山ピザをつくってみよう	9	里山の春を見つけよう	※1 風景100選写真コンテスト 受付開始
	23	きれいに撮ろう里山風景			※2 里山の春を見つけよう
5		田植えをしよう	1	イモリを見つけよう	※2 新緑の里山ウォーク
		森の手入れをしよう パート1	7	新緑の里山ウォーク	アースデイえちぜん ※3 田植えをしよう ※2 森の手入れをしよう パート1
6		笹の葉でチマキづくりと 押し寿司づくり		ハッチョウトンボを見つけよう	※1 笹の葉を採りに行こう
		田んぼの草取りと観察会 17～19 ホテルを覗ようナイトウォーク			※1 田んぼの草取りと観察会 ※1, 2 写真展と講演会
7		田んぼの草取りと観察会	里山の夏を見つけよう いろんなカエルを見つけよう	コウノトリのあれこれ(環境編)	※2 里山の夏を見つけよう
8				仮)田んぼの生きもののあれこれ	さかぐち 里山生きもの発見 (仁愛大)
9		きれいに撮ろう里山風景 森の楽校 (森の手入れをしよう パート2)			※1 イナゴバスター ※3 稲刈りをしよう ※2 森の楽校
10		ドジョウを見つけよう	里山の秋を見つけよう (里山けんこうウォーク)		※1 坂口どじょうレストラン ※1 ドジョウすくい &ドジョウピザづくり ※1, 2 里山けんこうウォーク
11		きれいに撮ろう里山風景 生きものゲット！自然しごと	いろんな木の実を見つけよう	コウノトリのあれこれ(共存編)	
12		しめ飾りをつくりましょう			※1 新年を手づくりで迎えましょう
1		寒餅づくりをしよう	里山の冬を見つけよう		※1 寒餅づくりをしよう ※2 里山の冬を見つけよう
2		かき餅づくり体験		愛読書のあれこれ(仮)	※1 風景100選写真コンテスト 審査会
3					

※1 さかのぐち活性化協議会
 ※2 日本鳥類保護連盟福井県支部
 ※3 坂口地区農地水協議会



【お問合せ】 越前市エコビレッジ交流センター

福井県越前市湯谷町 25-25-2 TEL/fax 0778-28-1123

URL <http://www.ecovilg.jp/> E-mail info@ecovilg.jp



～ヘルメットの巣のツバメ達～



何年前だったか、出勤すると、巣ごと落ちてしまったツバメのヒナ達が雨に打たれていた。タオルで1羽ずつ拾い、水気を取りながら巣に戻し体温維持。親も上空を飛んでいるが、なかなか下に降りて来ない。野村指導員が考えたのが、ヘルメットの中に巣を入れ、元の場所に戻すこと。「ディディディ」10分ほどで親がヒナにエサを持ってくるようになり、一安心。見守りの日々が始まった。

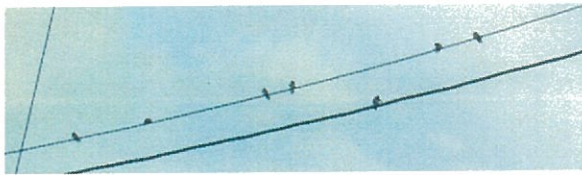
2日ほど、ヒナが落ちては戻すの繰り返しだったが、その後は順調に大きくなっていった。

数日後、ヒナ達2度目の危機！巣の下にアオダイショウ。人間が近付いても微動だにせず、ただじっとヒナを見上げている。自然界でダメな事は分かっているけど、このヒナ達だけは巣立って欲しいという思いから、巣の周りに有刺鉄線を張り巡らせた。

巣が落ちてから10日目。やっと巣立ちの日がやってきた。どこかに飛んで行っても元気で頑張れ(^)/

今年もツバメが飛んできた。空を見上げながらあの子達の事をふと思い出す。

エコビレ指導員 田川



チョウゲンボウ

冬季には田圃など開けた場所でよく見かけます。大きさはハトぐらいしかありませんが、タカやハヤブサと同じ猛禽類でネズミやカエルなど小動物を狩って食べます。時々空中の同じ場所に留まるホバリングをする姿も見られます。この日は田圃の中を歩く三毛猫を何回も威嚇する姿が見られました。 林支部長



編集後記 「風だより」何年ぶりに発刊したでしょう。3月5日(土)、「日本鳥類保護連盟福井県支部」の臨時総会をエコビレの和室にて開催し、林昌尚氏を新支部長に、副支部長と事務局を兼ねて私が担当させて頂くことになり、その際、支部便りも出せるように努めたい旨、お話させていただきました。エコビレの広報紙「風だより」と支部の広報紙「このとり」を合体させて、長続きする広報紙を目指します。ご協力お願いいたします。

野村